

科目名 Subject	美容デザイン論Ⅲ Theory of Beauty Design Ⅲ			教員名	ヘアチーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○			
科目の概要	<p>本科目では、美容デザイン論Ⅰで学んだ知識をもとに、各ヘア技術の目的や用語、ならびに技術のプロセスや特徴に関する知識を習得する。同時に、美容デザイン実習Ⅲ・Ⅳで行う美容技術と関係づけ、技術的課題を理論を通して発見できる思考力を養う。</p> <p>また、伝承美(着装Ⅰ・Ⅱ)、メイクアップⅠ・Ⅱ、ネイル技術Ⅰの各技術の知識を再確認し、幅広い美容技術を相互に活かす場面を想定していく。</p> <p>美容デザインは人体に施す手技を用いて、外見の美をデザインしていく。時には取り扱いに注意を要する薬剤や用具も使用し、人体に直接触れながら技術を行うという特性上、安全に配慮しながら正確な技術を施すことが必要になる。そのためには、美容に関する基礎知識や美容技術で使用する用具や薬剤の取り扱いを正しく理解することが重要である。</p> <p>講義のみにとどまらず、美容デザイン実習Ⅰ・Ⅱと関係づけた授業を展開していく。</p>					
授業方法	授業は対面で行うが、状況次第でZOOMによる同時双方向(リアルタイム)のオンライン授業に切り替えることや、密の分散のため受講者を区切り、対面授業とオンライン授業を併用する可能性もある。					
授業の目標	各ヘア技術の目的や用語と技術のプロセスや特徴に関して正しく述べることができる。 施術の事故を未然に防ぐために用剤や化粧品の特徴・使用方法についても具体的に述べることができる。 学んだ知識を美容デザイン実習Ⅳ・Ⅴを行う上で技術に関係づけることができる。 髪・顔・装いの面から適切な技術理論を選択することができる。					
時間外学習 (予習・復習)	1回の授業につき予習(15分)としてテキスト美容技術理論Ⅰの指定した範囲もしくは資料に目を通し予備知識を得る。 1回の授業につき復習(45分)としてノートにまとめ作業を行い理解の度合いを確認し、次回につなげる。 授業後半には演習問題を全問回答できるように繰り返し解く。					
教科書・教材	教科書		美容技術理論1・2、公益社団法人日本理容美容教育センター、2023年 教員作成資料及び演習問題プリント			
	教材		B5大学ノート(リングノート不可)			
	使用設備・備品		プロジェクター			
	参考文献		なし			
評価方法	定期試験(90%)の得点と提出物・理論ノート(10%)で評価する。 その他、授業態度について意欲的に参加しているかを評価して最大10点を加算する。 ただし、総合評価の最高点は100点とする					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法						
	定期試験の要点について、classroom内、もしくは美容デザイン論Ⅲにて解説を行います。					
履修上の注意	美容デザイン実習Ⅲ・Ⅳの内容と相互に理解をしながら受講する必要があります。遅刻・欠席は知識を習得する上で支障が出るため原則認めません。 資料の配布、授業連絡はclassroomを通じて行います。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション 5章：パーマネントウェービング① 理論、歴史と現在を学ぶ	今期の授業の流れを予測することができる。パーマネントウェービング理論とパーマネントウェーブの歴史と現在について比較することができる。	美容技術理論1) 5章パーマネントウェービング理論と歴史について要点をノートにまとめる復習45分と次回学ぶパーマ剤の分類について教科書の範囲を読む予習15分
第2回	5章：パーマネントウェービング② パーマ剤の分類を学ぶ	パーマの分類、パーマ剤に関する注意事項について列挙することができる。	美容技術理論1) 5章パーマ剤の分類についてノートにまとめる復習45分と次回学ぶパーマネントウェーブの工程について教科書の範囲を読む予習15分
第3回	5章：パーマネントウェービング③ パーマネントウェーブの工程を学ぶ	パーマ剤に関する注意事項とパーマネントウェーブの技術プロセス述べるができる。	美容技術理論1) 5章パーマネントウェーブの工程についてノートにまとめる復習と5章演習問題を解く45分と次回学ぶ2章シャンプーイング総論の教科書の範囲を読む予習15分
第4回	2章：シャンプーイング① シャンプーイング総論を学ぶ	シャンプーイングの目的を理解し、シャンプー剤の種類について述べるができる。	美容技術理論1) 2章シャンプーイング総論をノートにまとめる復習45分と次回学ぶ2章シャンプーイングの様々な手法の教科書の範囲を読む予習15分
第5回	2章：シャンプーイング② シャンプーイングの様々な手法を学ぶ	シャンプーイングの際の注意点や手法について技術に関係づけることができる。	美容技術理論1) 2章シャンプーイングの様々な手法をノートにまとめる復習45分と次回学ぶリンス等やスカルプトリートメントの教科書の範囲を読む予習15分
第6回	2章：シャンプーイング③ リンス・コンディショナー・トリートメントとスカルプトリートメントを学ぶ	リンス・コンディショナー・トリートメントの違いと成分、スカルプトリートメントの種類について比較することができる。	美容技術理論1) 2章：リンス等やスカルプトリートメントの要点をノートにまとめる復習と2章演習問題を解く45分と次回学ぶ6章ヘアセッティングの基礎の教科書の範囲を読む15分
第7回	6章：ヘアセッティング① ヘアセッティングの基礎を学ぶ	ヘアセッティングについての基礎の名称を述べるができる。	美容技術理論1) 6章ヘアセッティングの基礎をノートにまとめる復習45分と次回学ぶヘアウェービング理論の教科書の範囲を読む予習15分
第8回	6章：ヘアセッティング② ヘアウェービング理論を学ぶ	ヘアウェーブの分類と技術理論を述べるができる。	美容技術理論1) 6章ヘアウェービング理論をノートにまとめる復習45分とフルウェーブ資料を見て構成を確認する予習15分
第9回	6章：ヘアセッティング③ ヘアウェービング理論の活用	ヘアウェーブの技術理論を技術と関係づけることができる。	美容技術理論1) これまでにまとめたヘアウェービングのノートを見直し、技術を行なう上での要点をまとめる復習45分と次回の6章ヘアカーリングの教科書の範囲を読む予習15分
第10回	6章：ヘアセッティング④ ヘアカーリングを学ぶ	カール各部の名称、種類を述べることができる。	美容技術理論1) 6章のヘアカーリングについてノートにまとめる復習と演習問題を解く45分と美容技術理論2) 9章ネイル技術の教科書の範囲を読む予習15分
第11回	9章：ネイル技術について学ぶ	ネイル技術の各道具の名称と使用法を列挙することができる。	美容技術理論2) 9章ネイル技術の要点をノートにまとめる復習45分と10章メイクアップの教科書の範囲を読む予習15分
第12回	10章：メイクアップ メイクアップについて学ぶ	メイクアップ理論およびメイクアップの基本テクニックについてメイクアップ技術と関係づけることができる。	美容技術理論2) 10章：メイクアップの要点をノートにまとめる復習45分と次回学ぶ12章：着付けの基礎理論と技術の教科書範囲を読む予習15分
第13回	12章：着付けの理論と技術① 着付けの基礎理論を学ぶ	着付けの目的・着物や帯の種類・着付けに用いる小物などを述べるができる。	美容技術理論2) 12章着付けの基礎理論のまとめを45分と振袖や袴の着付け技術理論の教科書の範囲を読む予習15分
第14回	12章：着付けの理論と技術② 着付け技術を学ぶ	基礎理論をもとに留袖着付けや袴の着付けの技術のポイントや注意点を述べることができる。	美容技術理論2) 12章振袖や袴の着付け技術理論をノートにまとめる復習30分と美容デザイン論Ⅰ、Ⅲで学んだ章の演習問題を解く30分
第15回	まとめと解説	今期までに学んだ全章でデザインできる美容を想定し、美しく生きるために必要な知識の選択ができる。	美容技術理論1と2の教科書にて今期までに学んだ全ての知識を見直し、演習問題も活用して必要な要点の箇所を洗い出す。総復習60分